

# 白山市「市民協働で創るまちづくり」

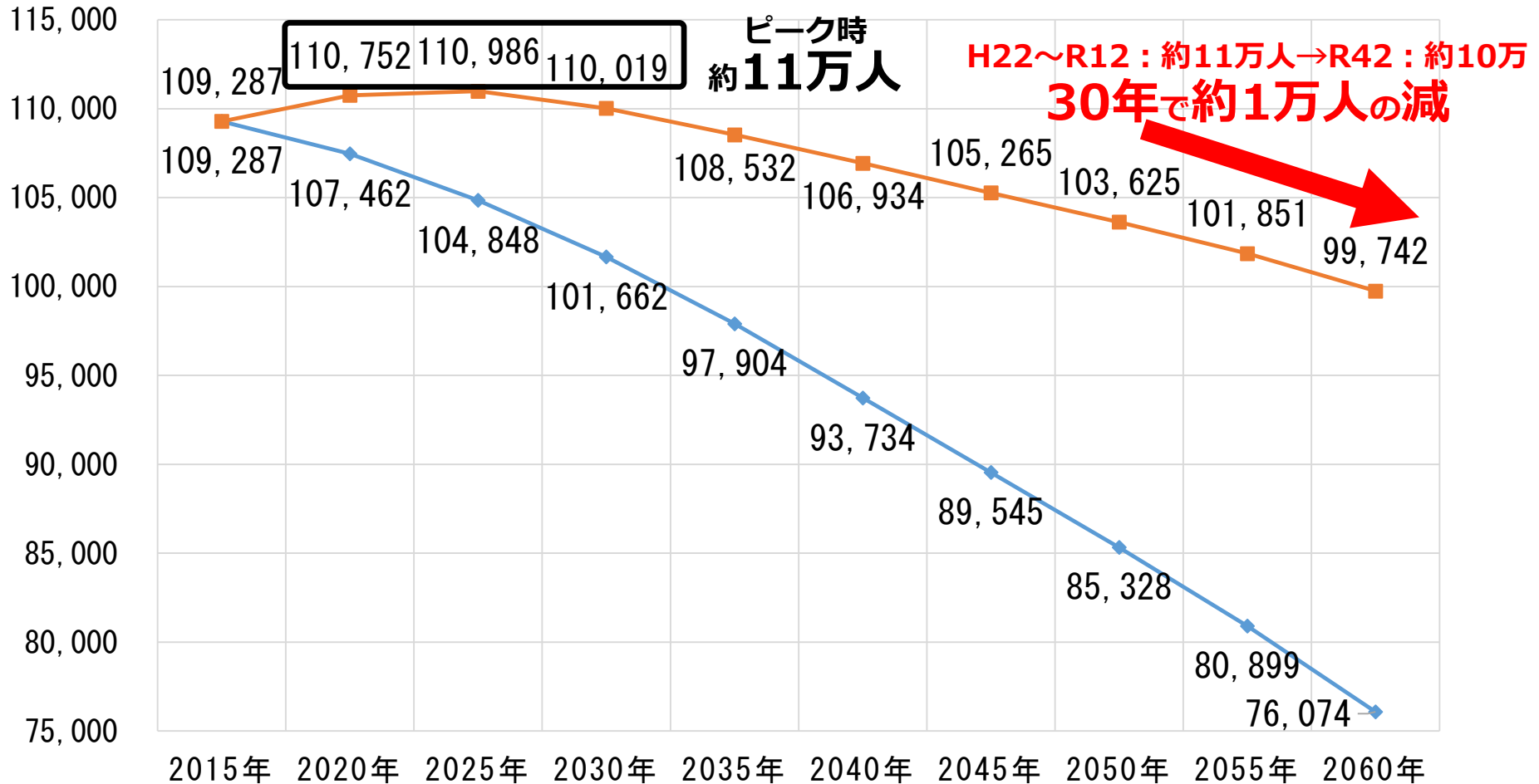
～地域コミュニティ組織の必要性と  
公民館のコミュニティセンターへの移行～

白山市企画振興部協働推進課

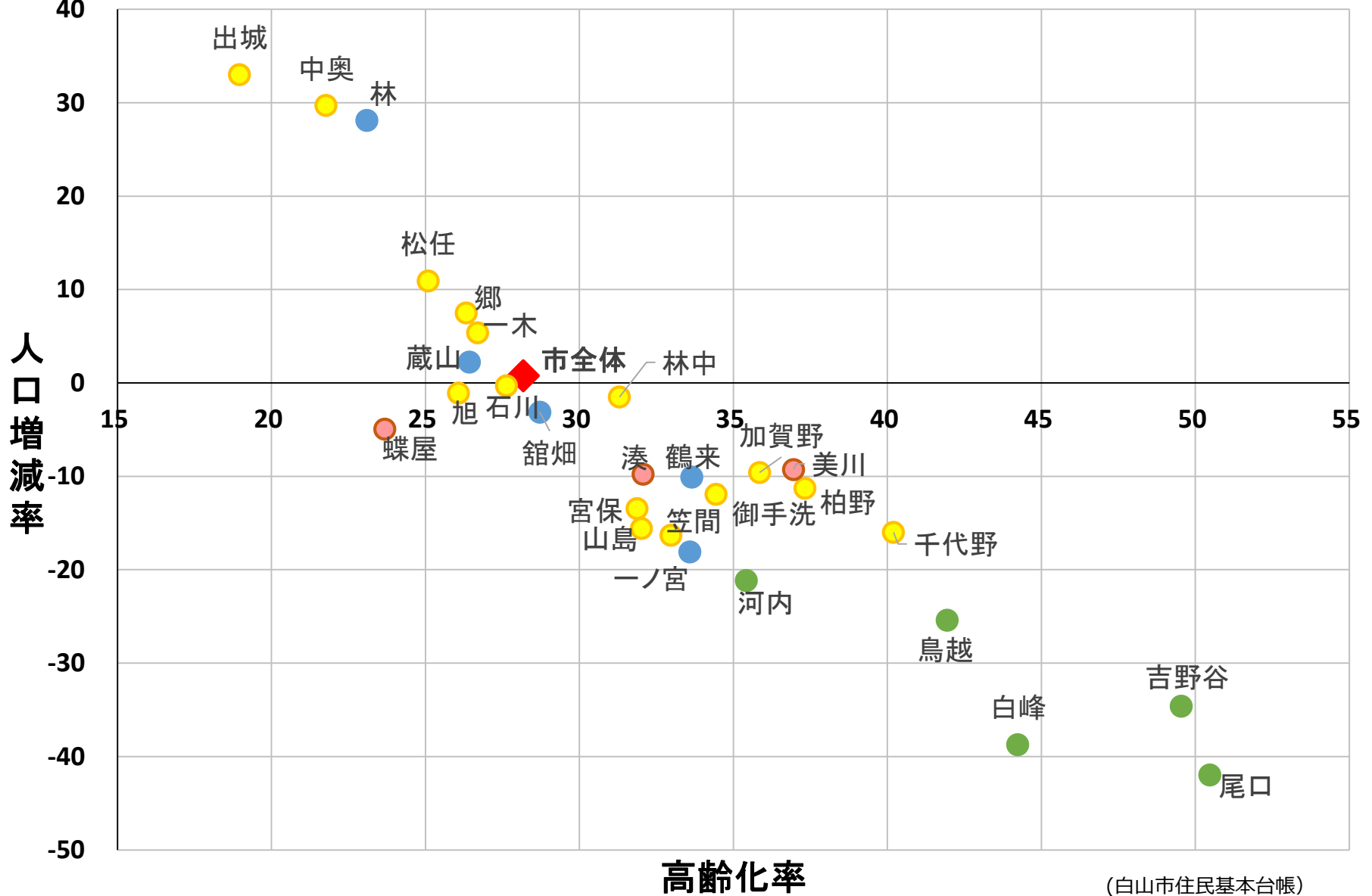
# 【白山市の推計人口】

## 今後、白山市の人口も減っていきます

- ◆ 社人研に準拠した推計（2015年）
- 第2期白山市人口ビジョンの推計（2015年）



### 白山市 地区の人口増加率(H17.12→R3.12) と高齢化率(R3.12現在)



(白山市住民基本台帳)

# 地域課題の多様化・深刻化

## 1 人口減少、少子・高齢化

- ・ 担い手不足
- ・ 地域活動継続の懸念
- ・ 独居高齢世帯の増加
- ・ 空き家の増加など

## 2 核家族化の進展による子育て環境の変化

## 3 全国各地で多発する自然災害など

# 地域課題解決のために

- 地域住民が地域課題を自分事に捉え、地域が主体的に取り組む
- 「人」の集まりを意識して、地域のことをみんなで考えるネットワーク

地域課題解決に向けて、地域のコミュニティ力を結集



- (1) 10年後、20年後における地域運営の持続
- (2) 地域住民で支え合う「共助の仕組み」
- (3) 地域住民が主役の地域づくり

※地域の団体は他にもあります。

# 市民協働で創るまちづくり推進のポイント

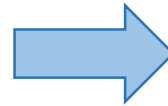
## ①地域コミュニティ組織

個別分野の課題



既存の各種団体

主体間の横の繋がりが希薄で  
効果が限定的



多様化・広域化する課題

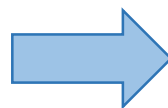


新しい地域コミュニティ

それぞれの主体の活動、持ち味  
を活かしながら、「つなげる」  
ことで効果を上げる

## ②公民館のコミュニティセンター移行（令和6年度～）

これまでは  
生涯学習・社会教育の拠点



生涯学習・社会教育に加えて  
地域づくり・人づくりの拠点

# 地域コミュニティ組織

## 話し合う

- ◆ 地域の特徴や目指したい姿
- ◆ 地域の困りごと、課題など



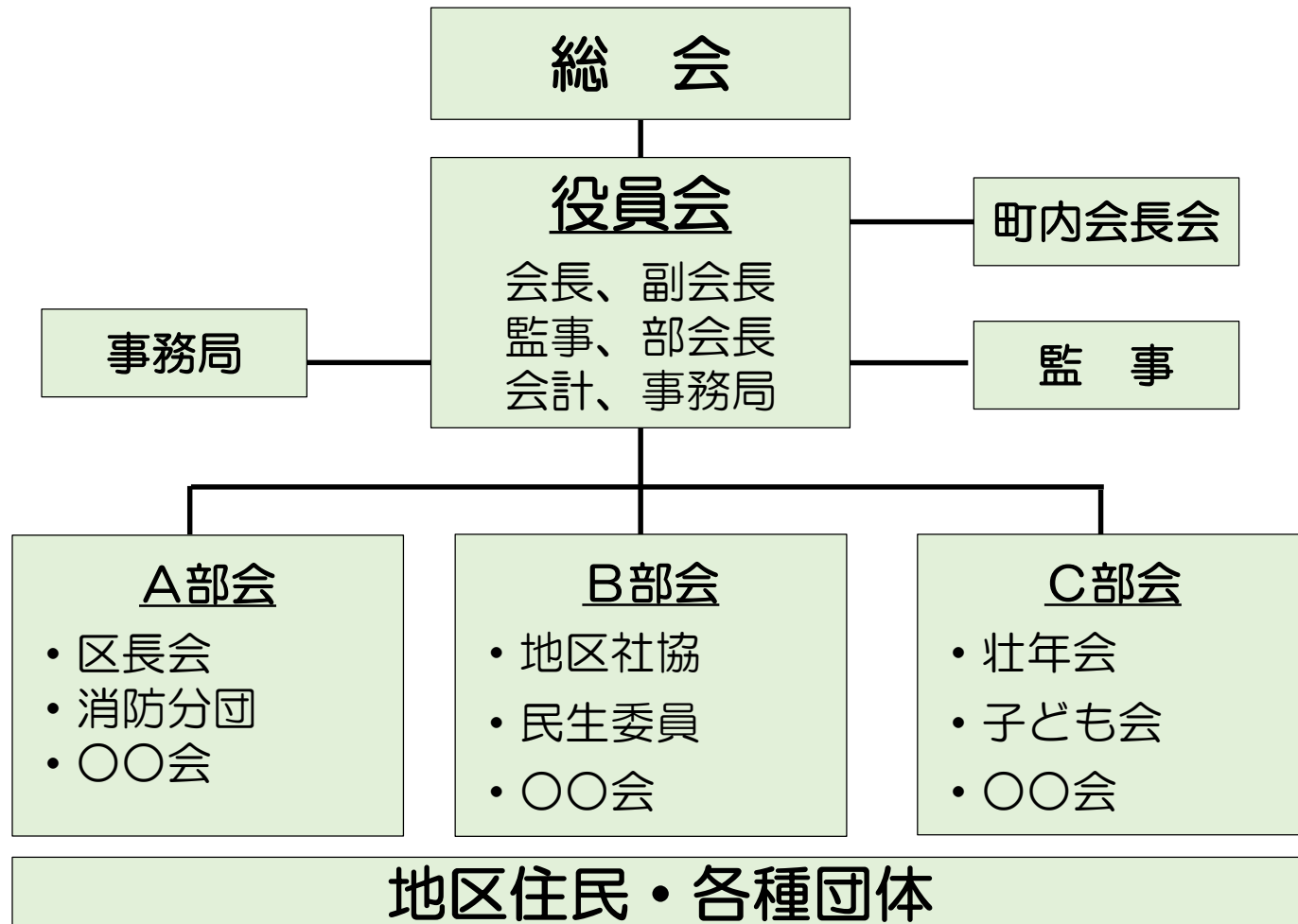
## 実行する

- (例)
- ◆ 防災訓練や通学路の見守り
  - ◆ 世代間交流、伝統文化の継承
  - ◆ 子育てサークル、高齢者の見守り
  - ◆ 公園の除草、リサイクルなど



地域コミュニティ組織は地域づくり活動を取り組む主体

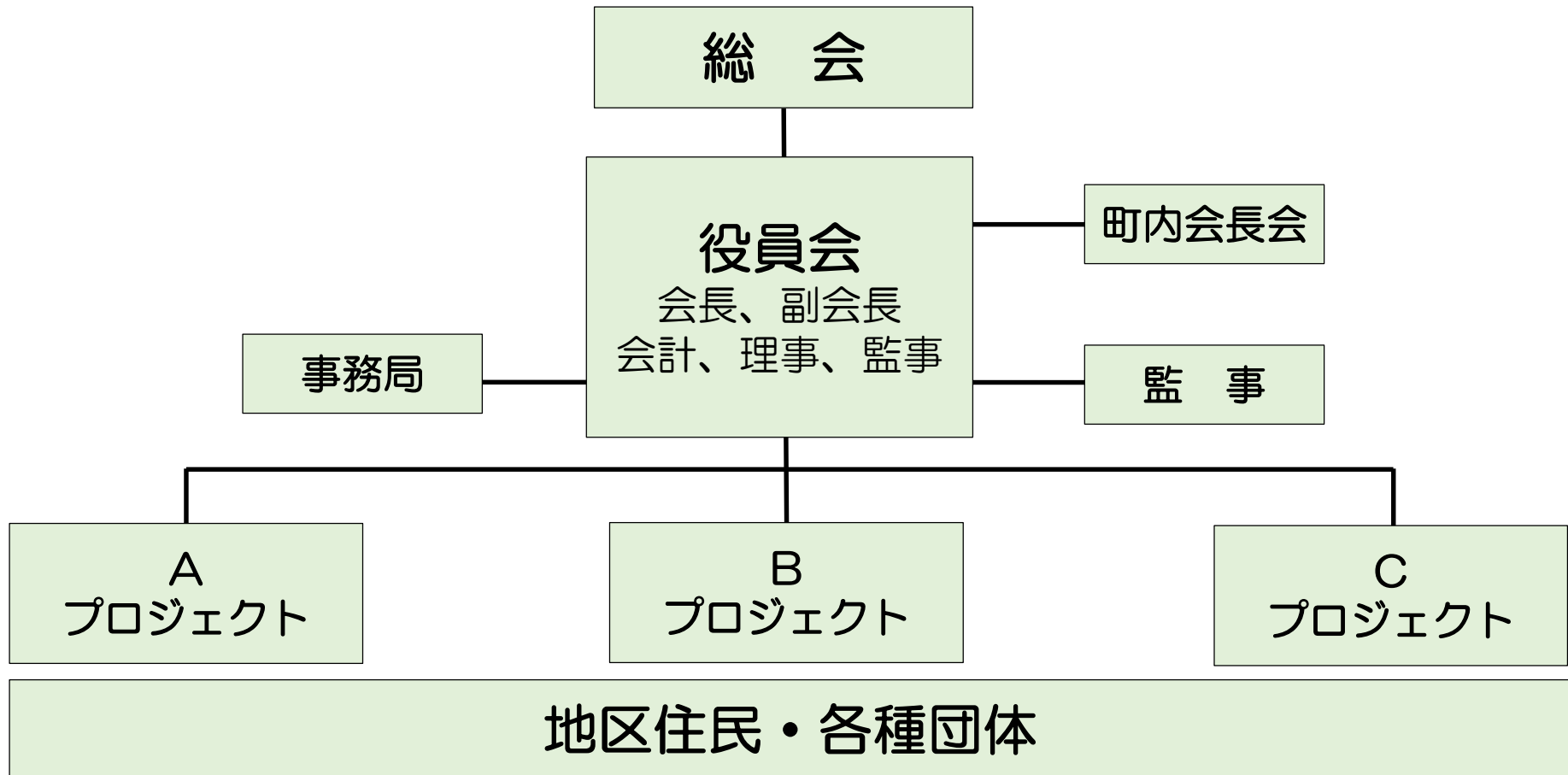
# 組織体制① 部会制（林中・山島・美川・蝶屋・湊）



(※部会例：防災防犯、健康福祉、生涯学習、環境美化、賑わいなど)



## 組織体制② プロジェクト制（石川・千代野・白峰）



（※プロジェクト例：広報、事業検討、人材発掘、農園、まち歩きなど）

# 地域コミュニティ組織モデル地区の主な取り組み

多様な住民の声を聞く、話し合い、若者・女性への発信

- ・ 中学生以上全住民アンケート
- ・ ワークショップ
- ・ 地区行事の見直し
- ・ 新規事業の検討
- ・ ホームページやSNSの発信など



# 地域コミュニティ組織モデル地区の主な取り組み

## 共助の活動、多世代・新旧住民の交流

- ・ 防災講演会、防災体験会、防災士意見交換会
- ・ 公園の清掃、芝桜の植栽
- ・ 農園活動
- ・ まち歩きなど



山島地区の美しいまちづくり運動

# 公民館のコミュニティセンターへの移行

～生涯学習活動の拠点に加えて、地域づくり活動の拠点へ～

令和6年4月

公民館はコミュニティセンターに変わります。

## コミュニティセンター

公民館の生涯学習活動の拠点  
(世代間交流、教養・趣味の講座 等)



地域づくり活動の拠点  
(地域課題の解決・地域資源の活用)



# 公民館のコミュニティセンターへの移行

## ◎ コミュニティセンターになって変わること

### 市は地域づくり活動に対する支援を充実します

- ・ 社会教育活動に加え、地域防災の拠点と地域づくり活動の拠点として位置づけます。
- ・ 所管を市長部局とし、幅広い地域活動に対し、全庁体制で支援します。
- ・ 公民館職員はセンター職員となり、地域づくり活動をサポートします。

# 公民館のコミュニティセンターへの移行

## ◎ コミュニティセンターになっても変わらないこと

### ① センターは「公設公営」

貸館業務や施設の維持管理は今まで通り行います。

### ② 教養講座等は引き継ぐ

公民館が実施している教養講座等は引き続き実施します。

### ③ センターの利用も従来通り

自主講座や一般の利用についても今まで通り利用できます。